



**Gesture**  
seating

**Steelcase**



## 人体を知りつくして 生まれたチェア GESTURE

テクノロジーは革新的な推進力となって人々の仕事、生活、行動の仕方を目まぐるしく変化させています。新しいマルチデバイスの登場によって仕事でも作業の間をシームレスに快適に行き来できるようになりました。

Gesture™(ジェスチャー)は今日の新たなテクノロジーを考慮して開発された世界初のチェア。

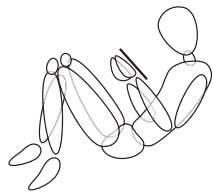
人体の自然な動きを研究しつくし、これからの新しい働き方や健康的な座り方を強力にサポートします。



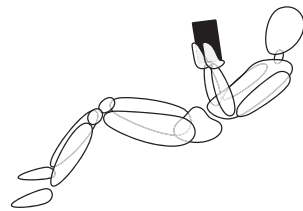


## 座位姿勢における グローバルな研究調査

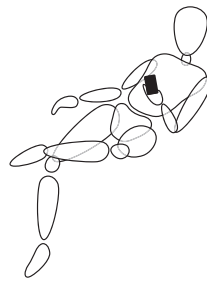
コクーン型



ドロー型



スマート・リークン型



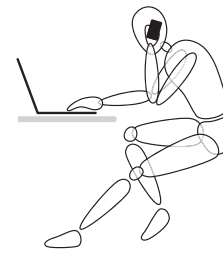
テキスト型



スワイプ型



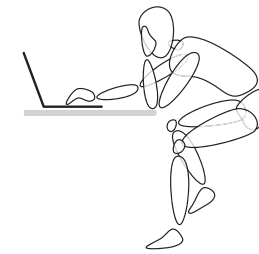
マルチ・デバイス型



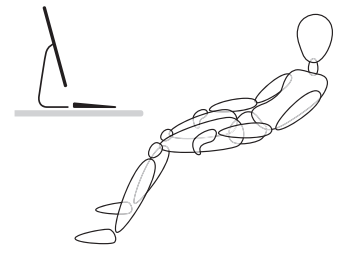
トランス型



ストラランチ型



テイク・イン型



私たちは仕事をしている際の人体を徹底的に把握するために、世界6大陸、2,000人もの人々のさまざまな姿勢を観察するというグローバルレベルの研究調査を実施しました。

私たちが発見したこと—新たなテクノロジーの登場は新たな行動を伴い、結果として9つの座位姿勢を生み出しました。しかし、それらの姿勢は従来のチェアでは適切にサポートされていないことが分か

りました。テクノロジーは生産性を向上させる一方で、身体の痛みを生み出し、結果として人々は集中力を欠き、その創造性をも阻害されているのです。

そして、私たちは今日のテクノロジーと同じくらいに先進的で、むしろテクノロジーを助長させるチェアがデザインできないかと考えたのです。

### 座位姿勢におけるグローバルな研究調査

調査対象人数

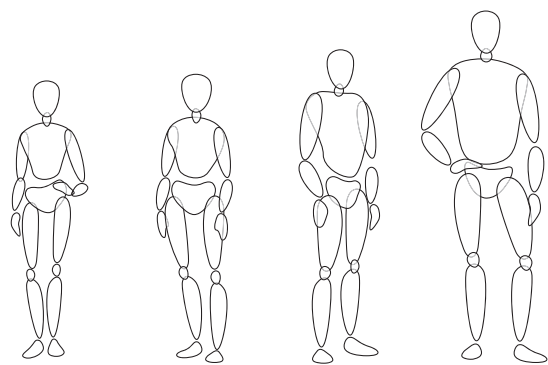
**2,000+**

対象大陸

**6**

新たに登場した座位姿勢

**9**



### 多種多様なユーザー

今日のグローバルな労働力は極めて多様性に富み、性別や世代における体格やサイズの違いが個々の座り方に大きな影響を与えています。

その中で浮かんだシンプルな問い。それはどうやったらすべてのユーザーの姿勢の好みまでにも対応できる製品を開発できるかということでした。

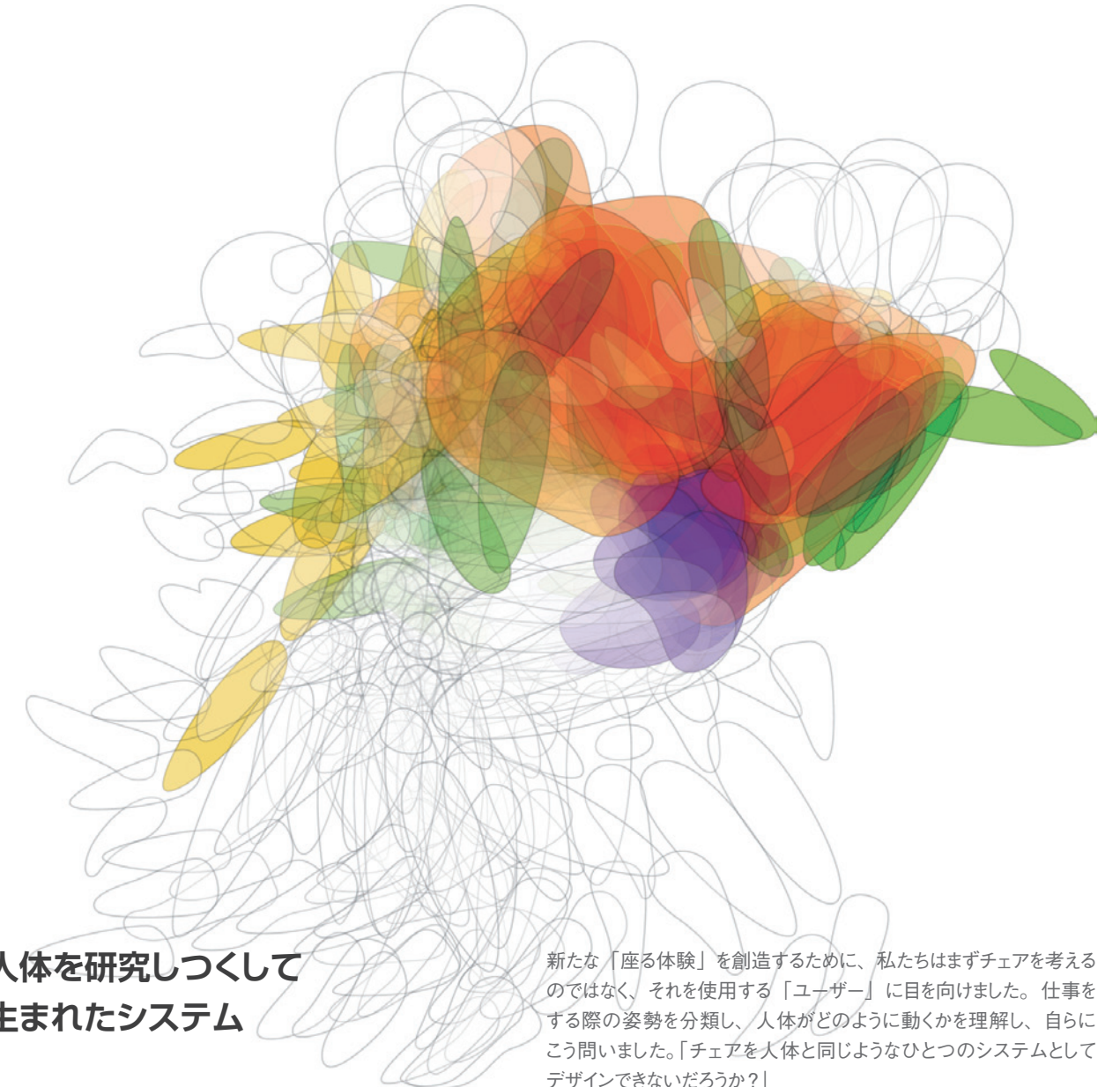


### 多種多様なスペース

今や、オフィスの中のさまざまなスペースで仕事は遂行され、人々は自席にいるのと同じぐらいの時間をコラボレーションスペースで過ごしています。デスクもチェアも共有され、体格の異なる人々が同じチェアをシェアする時代になりました。

1日を通して、マルチなスペースで体格の異なる複数の人々がチェアを共有する現実に対応したらよいのでしょうか？

## 人体を研究しつづけて 生まれたシステム



新たな「座る体験」を創造するために、私たちはまずチェアを考えるのではなく、それを使用する「ユーザー」に目を向けました。仕事をする際の姿勢を分類し、人体がどのように動くかを理解し、自らにこう問いました。「チェアを人体と同じようなひとつのシステムとしてデザインできないだろうか？」

このシンプルな探求がチェアをデザインすることを根本から見直すことにつながりました。そして、仕事をする際の多種多様な姿勢を研究した結果、人体とチェアの間には人体の動きを真似るシームレスなインターフェイスを設計することに成功しました。そのインターフェイスとは下記の3つから成ります。

- コア・インターフェイス
- リム・インターフェイス
- シート・インターフェイス

## 新たな「座る体験」 の創造

私たちはチェアをデザインする前に、まずは人体の独特で微妙な動きに目をむけることから始めました。

Gestureはまるで人体が動くように、身体にシンクロするインターフェイスとしてデザインされ、調節も直感的で驚くほどシンプルであるように設計されました。

### 人体

#### コア

身体に安定性と柔軟性の両方を提供する。

#### リム

身体の極めて活発な部分の広範囲にわたる動きを可能にする。

#### シート

長時間継続的な座り心地を提供する。

### GESTUREの「座る体験」

#### コア・インターフェイス

さまざまな姿勢での持続的で確実なサポートを提供する。

#### リム・インターフェイス

身体の腕部分のさまざまな動きをサポートする。

#### シート・インターフェイス

シートのエッジまで配慮された極上の快適さを提供する。







### コア・インターフェイス

Gestureの背と座はシンクロし、ユーザーの動きに追従し、持続的なサポートを提供します。

どのデバイスでどんな姿勢をしようと、背もたれはユーザーを優しく包み込みます。



### リム・インターフェイス

Gestureのアームはまるで人間の腕のように動き、腕のあらゆる動きをサポートします。

スマホで文字入力する、タブレットでスワイプする際にも腕や肩を適切にサポートし、最適なポジションで作業を続けることができます。





### シート・インターフェイス

Gestureの座面はエッジにいたるまで徹底的に快適さが追求され、ユーザーはスムーズな姿勢の動きが可能になります。



### ユーザー・インターフェイス

Gestureは多様な体格や座り方の好みを考慮し、個々のユーザーのニーズにあうように簡単に調節ができるように設計されています。

ユーザーは姿勢を調整するのと同じくらい簡単にGestureチェアを調節できます。

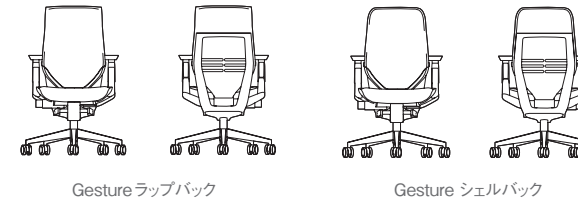




## 多くのユーザーに対応する ひとつのソリューション

Gestureはユーザーの嗜好や体格、サイズを考慮して設計されています。身体のサイズの大小に関わらず、Gestureはたったひとつのソリューションですべてのユーザーに対応できる快適性を実現しました。

## 製品タイプ



## サステナビリティ

### 人・地球・利益

私たちは人間や地球への負の影響を軽減するために事業のしくみを再考し、製品を開発、デザインすることが持続する社会への貢献につながると確信しています。継続的な学びと顧客やビジネスパートナー、環境専門家の皆様との対話を通してその成果をさらに高め、サステナビリティへの責任と役割を引き続き積極的に果たしていきたいと考えています。

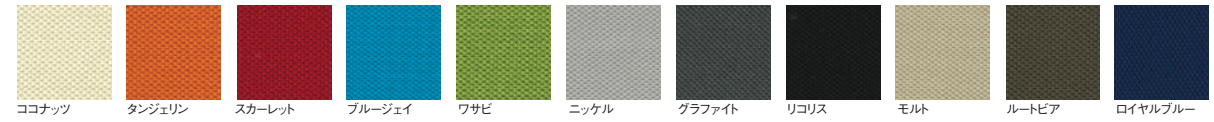
サステナビリティの詳細は下記にアクセスください。  
[WWW.STEELCASE.JP/SUSTAINABILITY](http://WWW.STEELCASE.JP/SUSTAINABILITY)

## ファブリック

### BUZZ 2(バズ2)



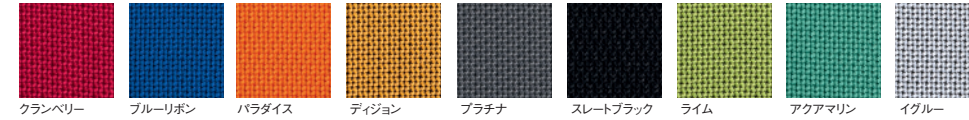
### Cogent Connect (コウゼントコネクト)



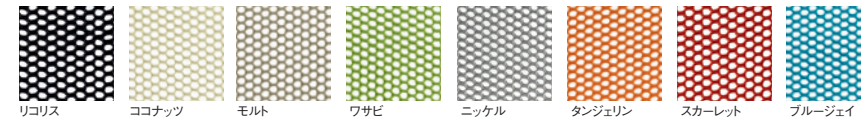
### OMNI-R(オムニ-R)



### CROSS CHECK (クロスチェック)



### 3Dニット



本カタログに掲載されている商品の色は印刷物ですので実際の色と若干異なる場合があります。

ファブリックに Cogent Connect または 3D ニットをチョイスした場合、背面から見える色はそれぞれの色になります。他のファブリックの場合は一様にブラックです。

## サイズ

奥行き	533.4 - 600.1 mm
幅	568.3 - 879.5 mm
高さ	997 - 1123.9 mm
座面奥行き	463.6 mm
座面作動奥行き	400.1 - 470.0 mm
座面幅	508 mm
床からの座面高さ	406.4 - 533.4 mm
背もたれ幅	412.8 mm
座面からの背もたれ高さ	611.2 mm
ランバーサポート高さ	235 mm
ランバーフレックスゾーン	101.6 mm
アーム間の幅	260.4 - 571.5 mm
アームから床まで	593.7 - 830.3 mm
座面からのアーム高さ	184.2 - 292.1 mm
アームキャップ角度幅	15° 内側へ / 外側へ
シートパン角度	1°
背座間の角度	98° から 116° まで



Love how you work.®

**Steelcase**®

日本スチールケース株式会社  
東京都港区南麻布5-2-32 興和広尾ビル4F  
TEL: 03-3448-9611 FAX: 03-3448-9617  
[www.steelcase.jp](http://www.steelcase.jp)

AP2313J ©2013 Steelcase Inc. All rights reserved.  
本カタログに記載されているトレードマークはSteelcase Incが所有しています。全てのコンテンツの無断複写・転載を禁じます。  
記載内容は予告なしに変更、あるいは製造が中止されることがあります。